

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】文化財保護センター収蔵庫再整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,484 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,484	0	0	0	0	0	0	0	16,484
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

センター本部の施設は旧県警察学校の建物であり、遺物収蔵棟として使用している3棟は耐震性がなく、令和11年に県有建物長寿命化計画において使用期限とされる築後65年を迎える。これらの建物で保管している埋蔵文化財は、文化財保護法で保護することが地方公共団体の任務とされる「文化財」の一つであり、出土品等(記録類・図書を含む)は将来に渡って適切に保存する必要があることから、代替となる施設を確保するための調査、整備計画作成を行う。

(2) 事業内容

施設の規模や必要床面積等を確保する方策を検討するために、令和6年度に基本計画を策定する。

令和6年度 センター収蔵庫再整備基本計画策定(県外視察)

令和7年度 基本・実施設計

令和8～11年度 施工、出土品等の移動

令和12年度 既設建物撤去

※施設の規模や必要床面積等については、基本計画策定時に決定する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	50	視察旅費
委託料	16,434	代替収蔵庫の基本計画策定
合計	16,484	

決定額の考え方

代替手段等の検討を行ったうえで、計上を検討することとし、計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県県有建物長寿命化計画
第3章 取組みの方向性と内容

1 取組の方向性

概ね40～50年程度で改築等を行っていた建物の使用を、原則、65年程度にまで延伸することを目指すとともに、維持管理の見直し等も含め、ライフサイクルコストの縮減など、財政負担の最小化・平準化に向けた取組みを推進する。

2 取組みの内容

(3) 施設保有の最適化(集約化、廃止等)

老朽化等に伴う再整備等に際しては、利用状況やニーズ等、建物毎に異なる状況を様々な観点から検討するとともに、県行政の遂行や県民の安全・安心、利便性に支障を来たさないよう配慮した上で建物の最適化を図っていく。

具体的には、以下の考え方を基本として検討する。

○施設ニーズの拡大に対しては、既存施設の活用を基本として検討する(ただし、立地や機能、必要な規模(空きスペース)、老朽度等の観点から適否を判断する。)

- ・活用が適する場合には、集約化や複合化、他用途からの転用、増築を検討することとする。
- ・活用が適さない場合には、再整備や新設を検討することとする。

(2) 国・他県の状況

出土品等の収蔵庫は通常施設の一部として建設されるものであり、老朽化により収蔵庫のみを単独で建て替えた事例は現時点で存在しない。収容能力不足については、建物の増設や遊休公有施設の利用で対応している。

(3) 後年度の財政負担

令和7年度：基本・実施設計、令和8～12年度 工事ほか

(4) 事業主体及びその妥当性

文化財保護法において、埋蔵文化財の保護は地方公共団体の任務とされ(文化財保護法第3条)るとともに、出土品は県所有の物品である(文化財保護法第105条)ことから所管する文化財保護センターで適切に管理する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度に基本計画作成、令和7年度に基本・実施設計、令和8年度に施工を開始し、出土品等の収蔵場所を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

文化財保護センター施設の再整備であり、指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 3 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和 4 年度	指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>今後も増加する出土品等の保存や令和23年に築後65年を迎える本館の再整備も念頭に置いた計画にする必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>基本計画において再整備手法について検討し、建物の使用期限を迎える令和11年度までには出土品等をより安全性の高い状態で収蔵できるよう準備する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】